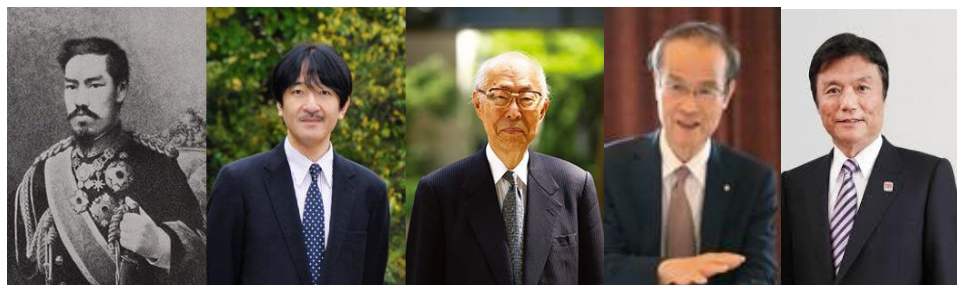


済生会飯塚嘉穂病院 説明資料

令和2年3月



社会福祉法人
恩賜財団 済生会
おんしざいだん さいせいかい



明治天皇 / 総裁：秋篠宮皇嗣殿下 / 会長：有馬朗人 / 理事長：炭谷茂 / 福岡県支部会長：小川洋

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。

100年以上にわたる活動をふまえ、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約62,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開し、全国で病院82の他、保健福祉施設等を含めて計391施設を運営しています。

- 生活困窮者を**済(すく)**う
- 医療で地域の**生(いのち)**を守る、
- 医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

済生会は、社会福祉法人並びに公的医療機関として急性期医療のみならず回復期、慢性期等のケアミックス医療を提供し、さらに過疎医療や救急医療、生活困窮者支援等の地域医療を守ることを使命としています。

■済生会飯塚嘉穂病院

平成19年4月、福岡県立嘉穂病院から済生会が経営移譲を受けて開設しました。高度急性期を担う済生会福岡総合病院との機能連携を図る観点から「福岡第二病院」という名称で発足し、主に高齢者の慢性疾患や回復期機能の充実、救急医療体制の強化に取り組んできました。(平成23年、新築と同時に「飯塚嘉穂病院」に改称)

当院の急性期患者は軽傷から中等症が中心であり、緊急手術を要する重症患者の受入れは多くありません。当院に求められる機能としては、高度急性期を担う飯塚病院をはじめとした地域の医療施設から紹介患者や救急患者をタイムリーに受入れ、在宅復帰に向けたリハビリ等の回復期機能を充実させることだと考えており、地域包括ケアシステムの拠点病院・地域連携の「Hub病院」として機能することだと考えています。

■ 糖尿病の診療状況について

<認定施設>

- ・ 日本糖尿病学会認定教育施設

<糖尿病センター>

- ・ 糖尿病専門医 3名(担当医は計6名)
- ・ 糖尿病療養指導士 17名
(看護師 7名、薬剤師 2名、栄養士 4名、検査技師 1名、理学療法士 3名)
※糖尿病教室の開催…毎週2回、10名程度/回

<糖尿病患者数>

- ・ 糖尿病外来患者平均 900名/月
- ・ 糖尿病入院患者 140名/H29年度
※糖尿病入院患者の状況を参照ください。



■特定健診結果：耐糖能異常頻度 県内地域別ランキング[H23]

HbA1c					
境界型 (5.2～6.0%)			糖尿病 6.1%～		
市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合
福岡県	109,508	46.9%	福岡県	19,831	8.5%
北九州市	23,639	43.9%	北九州市	5,097	9.5%
福岡市	19,492	46.0%	福岡市	3,110	7.3%
飯塚市	6,104	66.8%	嘉麻市	339	13.1%
嘉麻市	1,719	66.5%	飯塚市	1,125	12.3%
宗像市	3,020	56.2%	若松区	609	11.5%
若松区	2,956	55.6%	八幡東区	490	11.3%
中間市	1,143	55.4%	八幡西区	1,392	10.1%
太宰府市	1,735	55.0%	戸畑区	289	9.3%
福津市	1,776	54.8%	田川市	154	9.2%
糸島市	2,358	53.2%	門司区	577	9.1%

血糖値が高いとヘモグロビンが高い

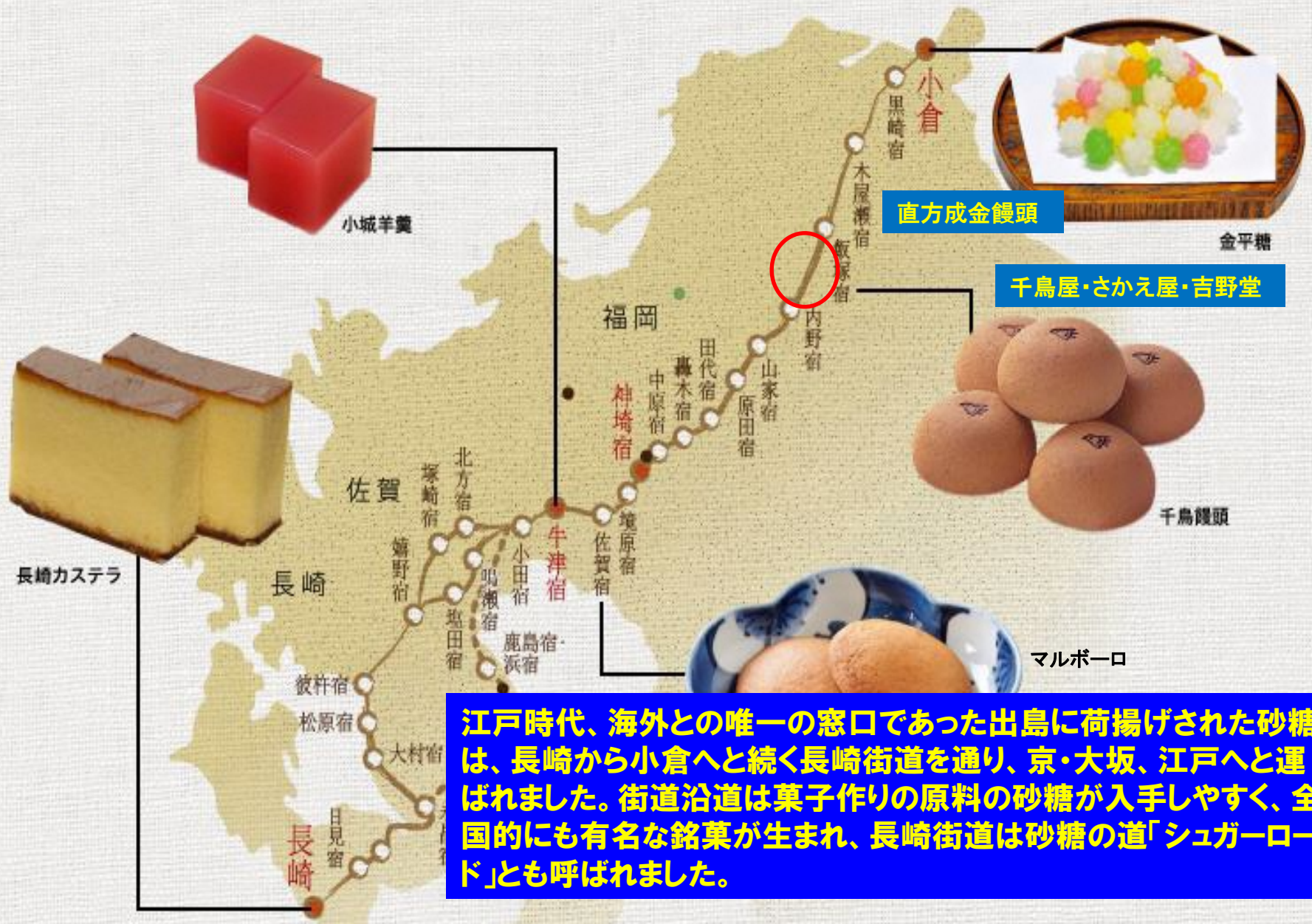
朝倉市	1,819	47.4%	中間市	168	8.1%
南区	3,684	46.5%	糸島市	351	7.9%
東区	3,650	46.3%	大牟田市	523	7.9%
八女市	2,130	46.2%	みやま市	262	7.8%
早良区	3,364	45.7%	福津市	252	7.8%
八幡東区	1,964	45.4%	直方市	139	7.8%
大野城市	1,339	45.3%	城南区	328	7.7%
博多区	2,087	44.5%	古賀市	164	7.6%
久留米市	7,427	44.4%	南区	597	7.5%
小都市	1,566	44.0%	小都市	267	7.5%
筑後市	1,291	43.3%	東区	583	7.4%

福岡県内では筑豊地区(飯塚市・嘉麻市)が断トツで第一位！
かつて石炭産業で栄えた筑豊地区の炭鉱労働者が甘いものを
好んだことに起因しているかもしれません？

田川市	809	48.5%	小倉南区	1,004	8.4%
西区	2,797	48.3%	早良区	602	8.2%
城南区	2,030	47.7%	小倉北区	736	8.1%

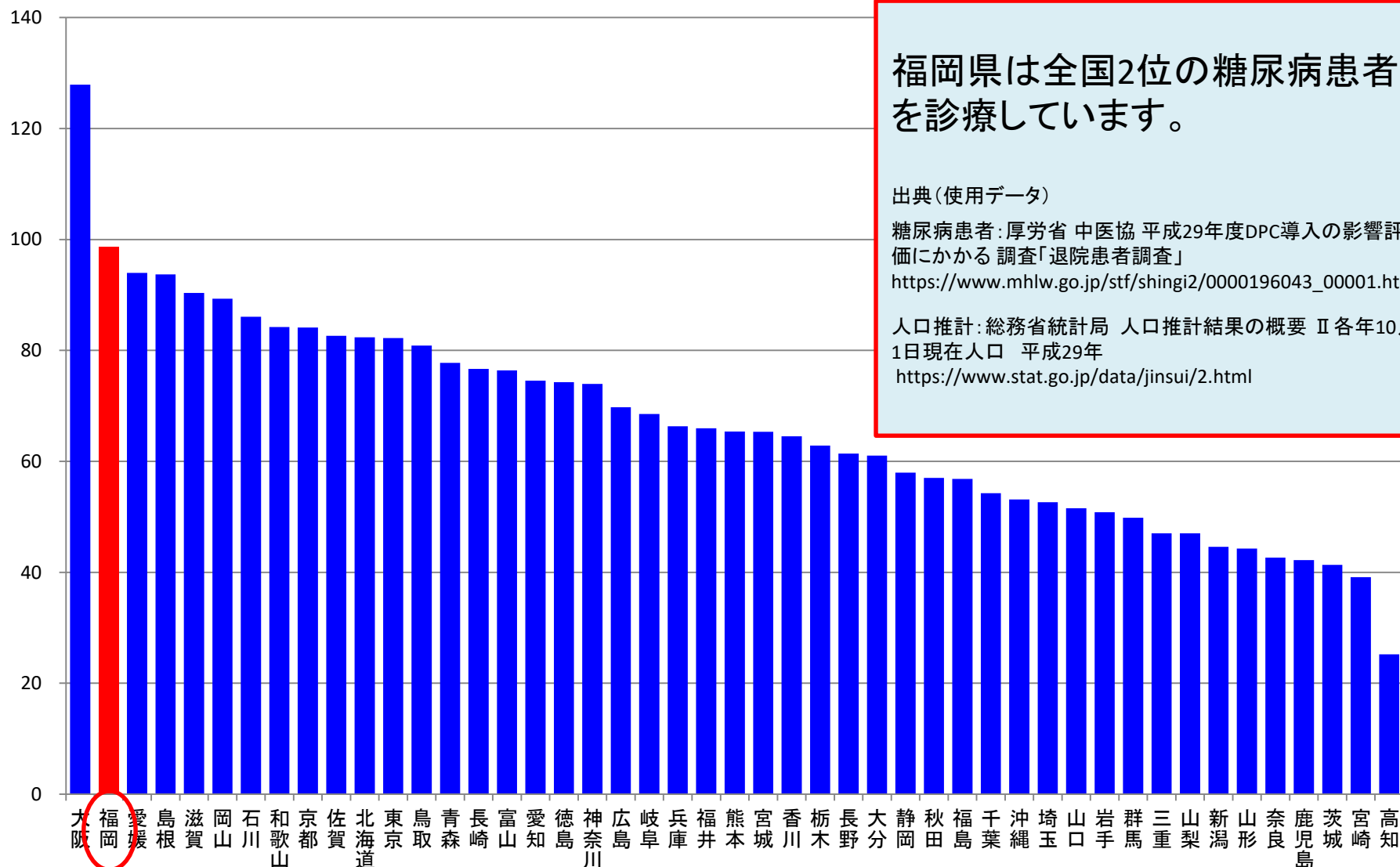
門司区	2,045	41.5%	西区	556	8.0%
小倉南区	4,709	39.4%	春日市	171	6.6%
春日市	980	37.7%	八女市	295	6.4%
大川市	605	34.9%	行橋市	206	6.2%
小倉北区	3,082	34.1%	大川市	106	6.1%
行橋市	1,094	32.8%	中央区	263	5.9%

■飯塚は、長崎街道(別名:シュガーロード)の宿場町でした。



■糖尿病入院患者実数：全国（人口10万人あたり糖尿病患者数）

患者数(人)



福岡県は全国2位の糖尿病患者を診療しています。

出典(使用データ)

糖尿病患者：厚労省 中医協 平成29年度DPC導入の影響評価にかかる 調査「退院患者調査」

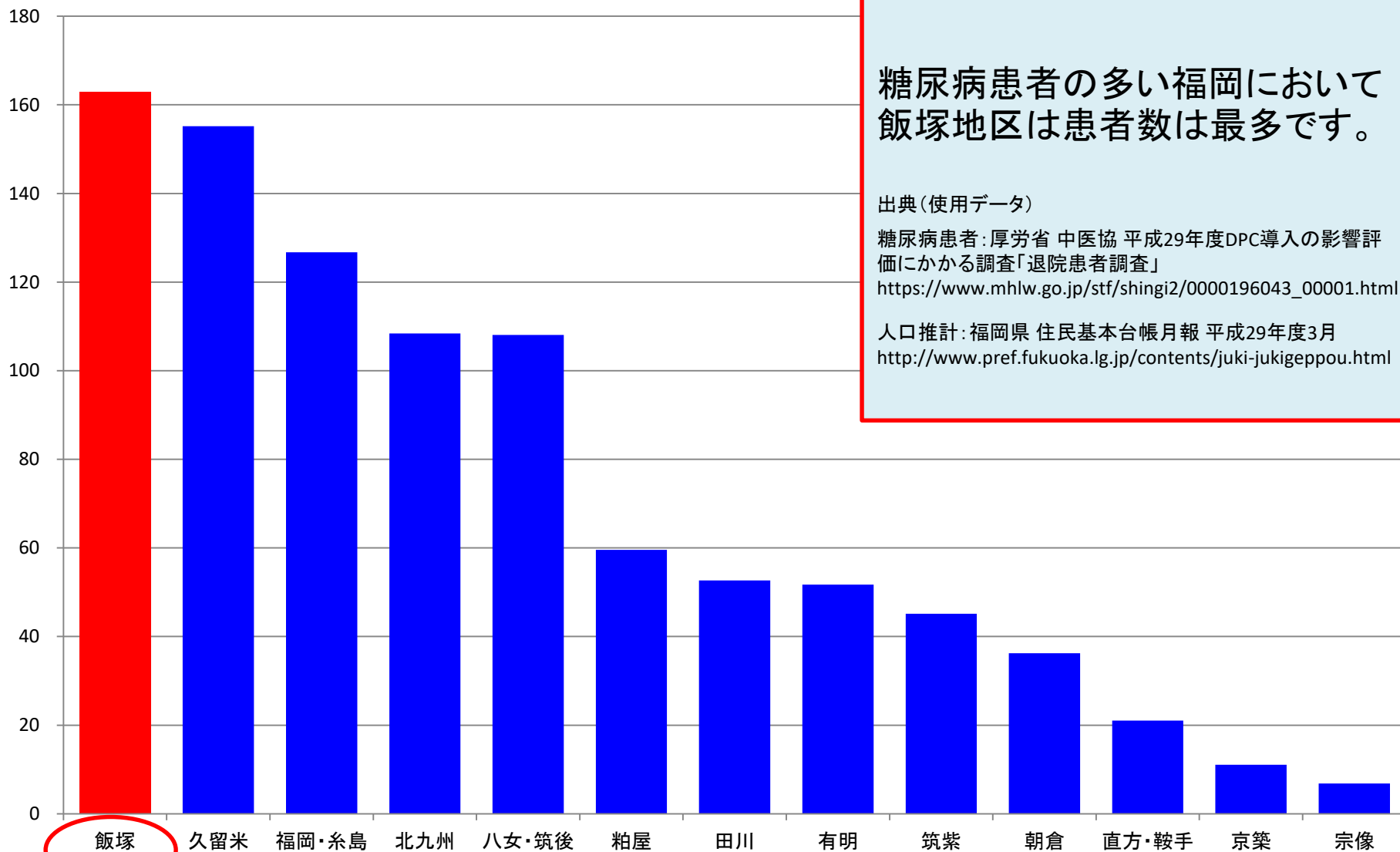
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00001.html

人口推計：総務省統計局 人口推計結果の概要 II 各年10月1日現在人口 平成29年

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.html>

■糖尿病入院患者状況：福岡県（地域構想区域別） 人口10万人あたり

患者数(人)



糖尿病患者の多い福岡において
飯塚地区は患者数は最多です。

出典(使用データ)

糖尿病患者：厚労省 中医協 平成29年度DPC導入の影響評価にかかる調査「退院患者調査」

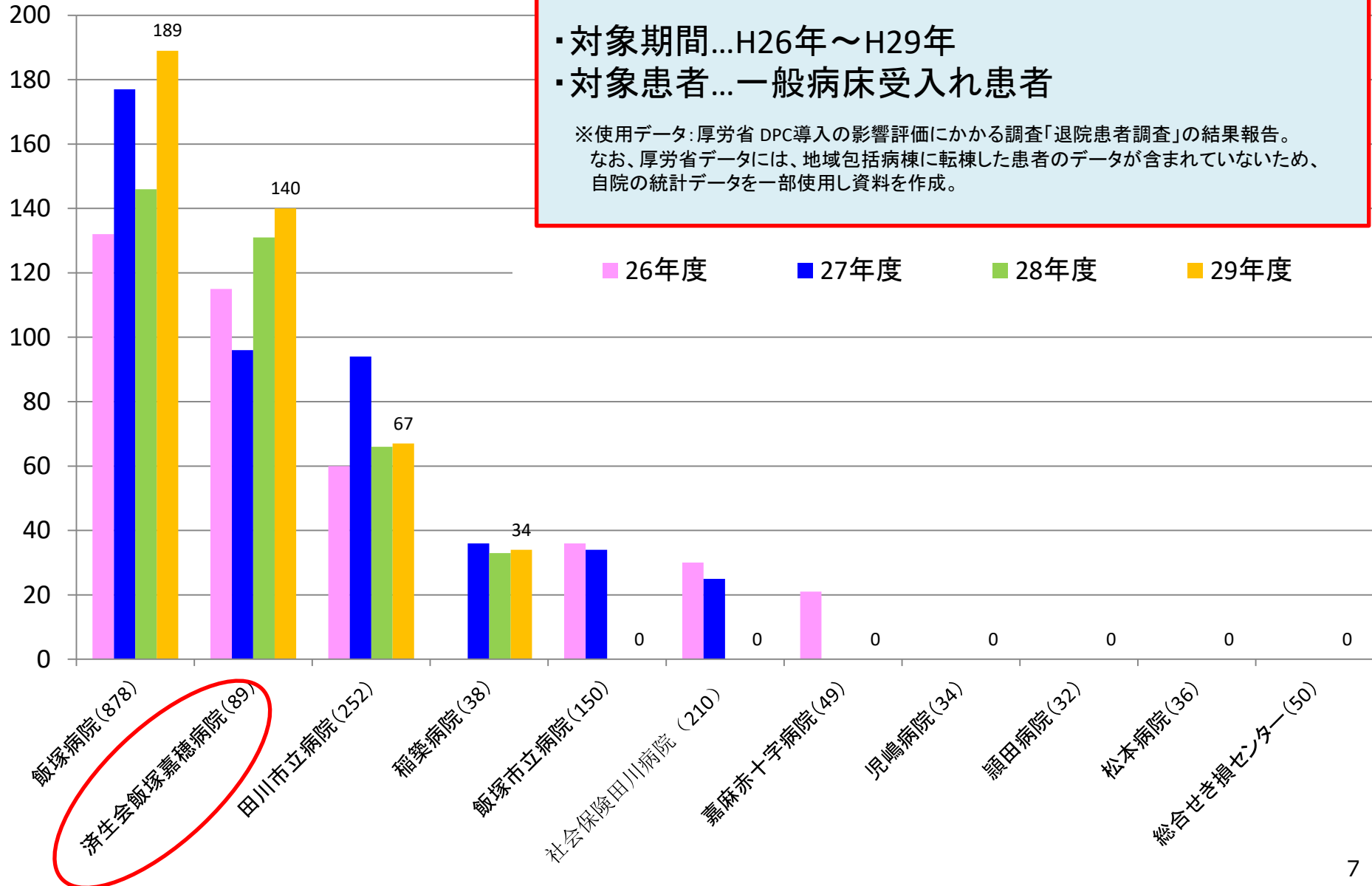
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00001.html

人口推計：福岡県 住民基本台帳月報 平成29年度3月

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/juki-jukigeppou.html>

■糖尿病入院患者の受入状況【飯塚・田川医療圏】

患者数(人)

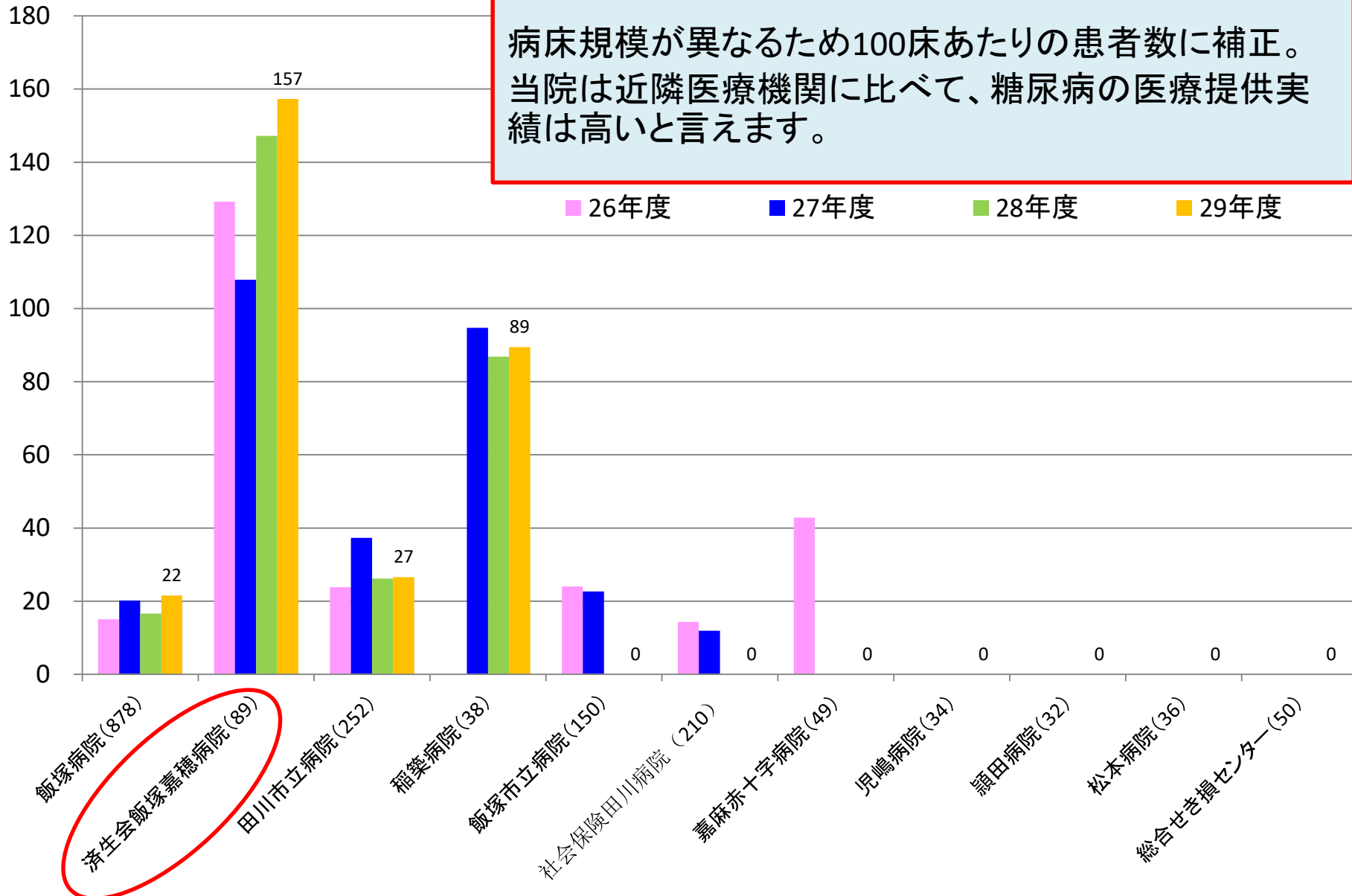


- ・対象期間...H26年～H29年
- ・対象患者...一般病床受入れ患者

※使用データ:厚労省 DPC導入の影響評価にかかる調査「退院患者調査」の結果報告。
 なお、厚労省データには、地域包括病棟に転棟した患者のデータが含まれていないため、
 自院の統計データを一部使用し資料を作成。

■糖尿病入院患者の受入状況【飯塚・田川医療圏】※100床あたり

患者数(人)



無料低額診療事業

社会福祉法に定められている、第二種社会福祉事業で、経済的な理由で医療費が支払えない方に対して**医療費自己負担分を減額・免除する制度**です。

生活困窮者支援事業「なでしこプラン」

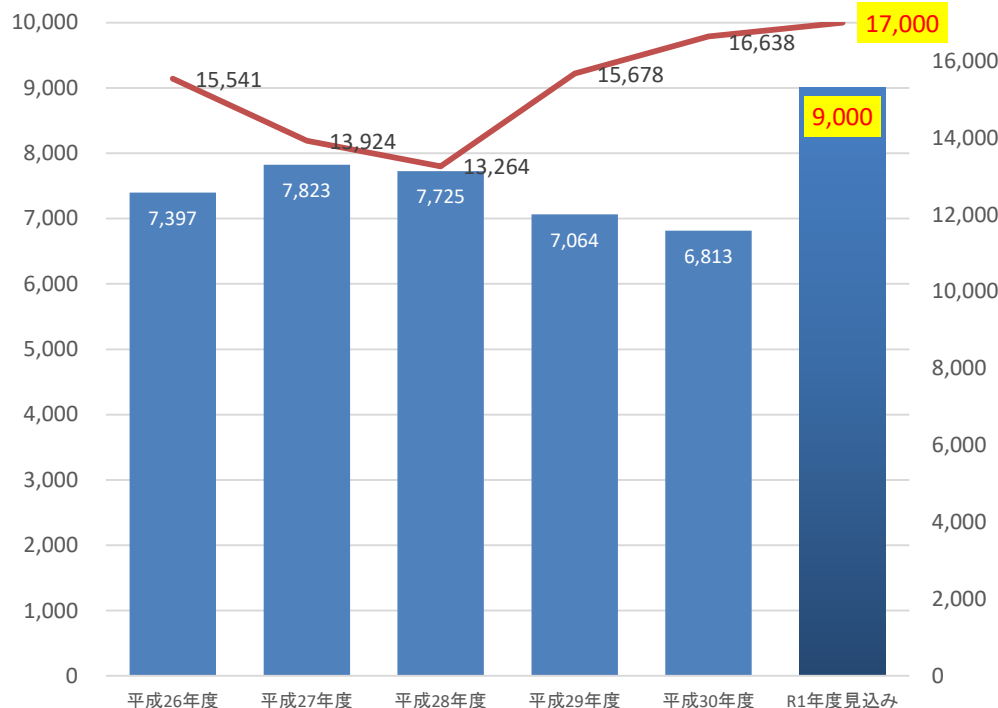
支援の対象を拡充して生活困窮者に対する**無償の支援事業**を幅広く展開しています。

- ・ホームレスに対する巡回健診事業
- ・DV被害者に対する医療的側面での支援事業
- ・在留外国人 //
- ・刑余者に対する健診事業

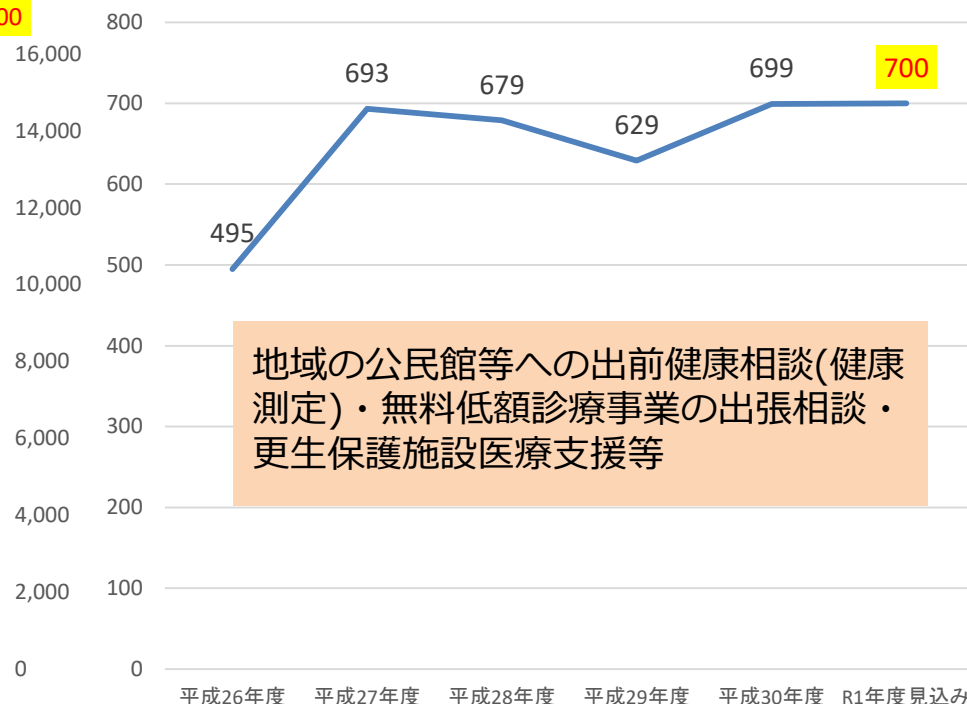


無料低額診療事業

■ 金額 (千円) ■ 対象者 (件)



生活困窮者支援事業(なでしこプラン)対象者



地域の公民館等への出前健康相談(健康測定)・無料低額診療事業の出張相談・更生保護施設医療支援等

全国・全地域の住民1人あたりの生活保護費ランキング

順位	自治体名	住民1人あたりの生活保護費		生活保護費	管轄地域人口
		A+B		2014年度(A)	2010年(B)
1	台東区(東京都)	128.6千円		22,626,465千円	175,928人
2	大阪市(大阪府)	118.0千円		314,638,139千円	2,665,314人
3	奄美市(鹿児島県)	112.9千円		5,206,506千円	46,121人
4	田川市(福岡県)	110.4千円		5,586,581千円	50,605人
5	嘉麻市(福岡県)	106.5千円		4,535,322千円	42,589人
6	室戸市(高知県)	99.1千円		1,506,721千円	15,210人
7	門真市(大阪府)	91.3千円		11,895,280千円	130,282人
8	歌志内市(北海道)	88.4千円		387,976千円	4,387人
9	釧路市(北海道)	85.3千円		15,455,846千円	181,169人
10	飯塚市(福岡県)	84.0千円		11,043,892千円	131,492人
11	函館市(北海道)	81.0千円		22,601,482千円	279,127人

全国市町村の中でも生活困窮者が多い地域の中で、無料低額診療事業・生活困窮者支援事業ともに対象者を広げており、こうした活動を通じて、地域医療に貢献することが済生会の使命と考えています。

■緩和ケアの取組みについて

- 平成23年、**筑豊地区で最初の緩和ケア病床(20床)を開設。**
平成24年、緩和ケアセミナーを開催。(以降、年2回開催)
平成25年、日本緩和医療学会認定研修施設
園芸や傾聴ボランティア活動
平成28年、遺族会「思い出を語る会」発足
平成29年、**日本医療評価機構の機能評価「療養環境整備」で【S】評価を取得**
日本ホスピス緩和ケア協会認証施設
平成30年、ホームページに緩和ケア病床の空床情報掲載（毎日更新）
緩和ケア病棟入院料1を算定(暫定期間終了後の継続申請)
令和元年、緩和ケア診療加算(個別栄養食事管理加算)を算定



緩和ケア病棟の全ての部屋が庭に面しており、ベッドのまま庭に出ることができ、ペット療法や園芸療法も可能です。緑あふれる自然に囲まれて、穏やかな癒しの時間を過ごせる環境です。

■患者割合…飯塚医療圏80%、福岡市等の周辺地域20%

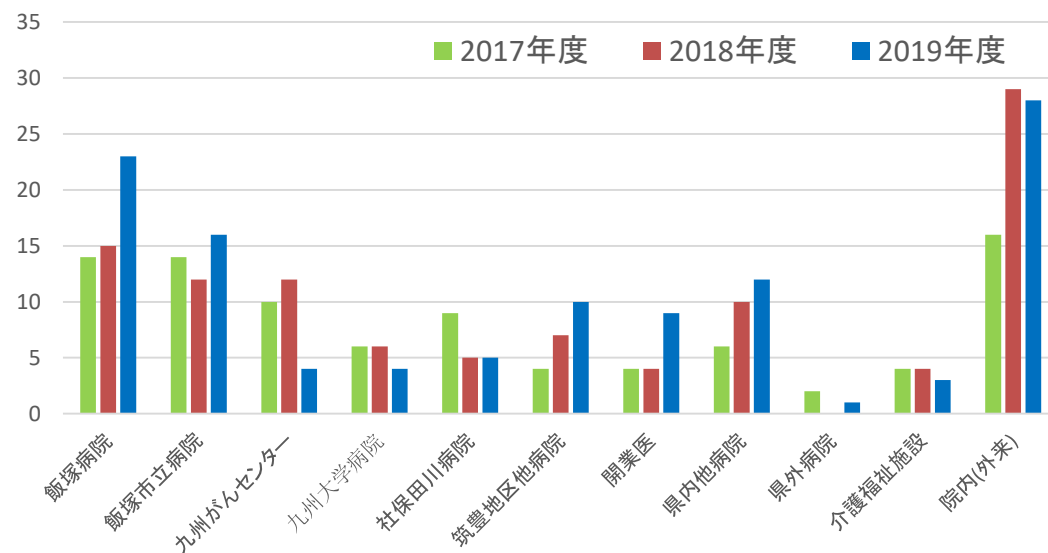
■稼働率…86%、平均在院日数…50日



■緩和ケア病棟の入院相談の状況(受入れルート)

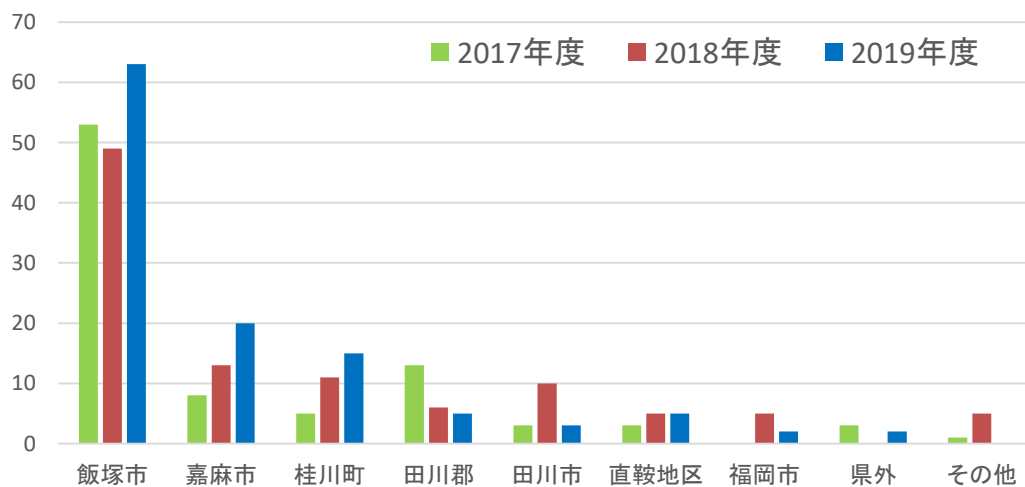
■紹介元

	2017年度	2018年度	2019年度
飯塚病院	14	15	23
飯塚市立病院	14	12	16
九州がんセンター	10	12	4
九州大学病院	6	6	4
社保田川病院	9	5	5
筑豊地区他病院	4	7	10
開業医	4	4	9
県内他病院	6	10	12
県外病院	2	0	1
介護福祉施設	4	4	3
院内(外来)	16	29	28
計	89	104	115



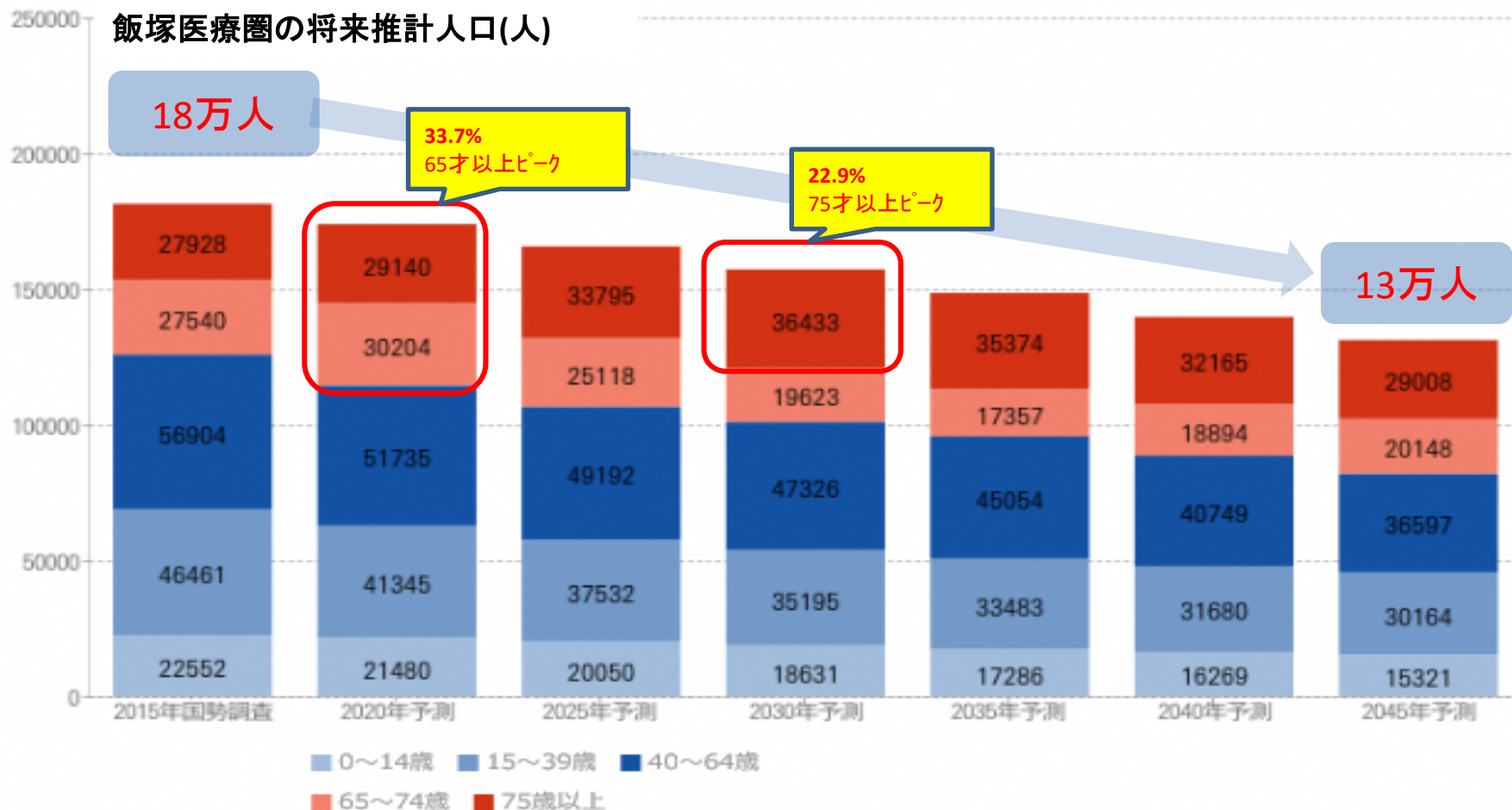
■患者居住地

	2017年度	2018年度	2019年度
飯塚市	53	49	63
嘉麻市	8	13	20
桂川町	5	11	15
田川郡	13	6	5
田川市	3	10	3
直轄地区	3	5	5
福岡市	0	5	2
県外	3	0	2
その他	1	5	0
計	89	104	115



当施設のポリシーは、患者本人とご家族の意向を尊重しつつ、様々な癌種の患者様に自分らしい終末を穏やかに迎えられる医療と看護を提供することです。紹介元は地場医療機関が中心ですが、九州がんセンターや九大病院等の県内広域に及んでおり、住み慣れた地元に戻り緩和医療を希望される方の受け皿となっています。今後も飯塚医療圏の病院・施設と連携を図りながら、緩和ケア医療の一層の充実に取り組みます。

■緩和ケア医療の地域課題

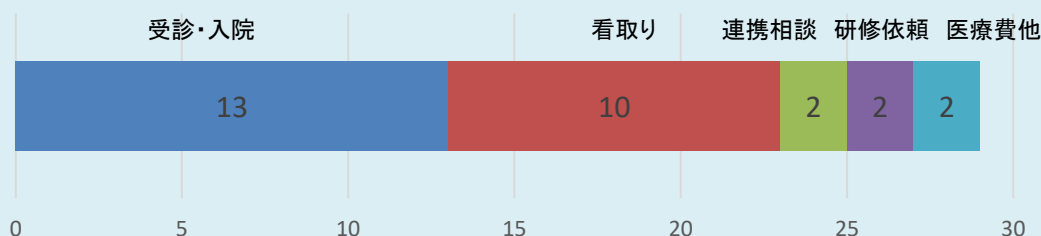


高齢化の進展に伴い、2040年頃まで多死社会が続くと言われています。病床数が減少する中で老人施設での「看取り」が上昇傾向で、施設職員に対する教育や支援体制が不可欠となっており、“施設看取り”が大きな地域課題となっています。

- ターミナル期の患者との向き合い方 (患者本人や家族に対する身体的・精神的ケア)
- 職員に対するメンタルサポート ■エンゼルケア(死後処理・お見送り)等

施設関係者向け医療相談窓口「なでしこホットライン」

- 運用開始 … 2018年5月
- 受付時間 … 月曜日～金曜日 8時30分～17時
- 相談方法 … フリーダイヤル回線 [済生会地域包括ケア連携士]
- 相談内容 … 「看取り」に関する疑問や不安等、施設が抱える課題であれば何でも相談を受け付ける。
- 相談件数 … 29件（相談内容別件数）



施設関係者向け支援活動「なでしこネットワーク」

- 運用開始 … 2019年10月
- 受付時間 … 月曜日～金曜日 8時30分～17時
- 相談方法 … フリーダイヤル回線 [済生会地域包括ケア連携士]
- 活動内容 … 当院の認定看護師の専門知識や経験を生かして、施設の課題に関して、アドバイスや研修等の支援活動に取り組む。
 (「緩和ケア」・「感染管理」・「糖尿病看護」等のサポート)
- 実績 … 第1号の取組みは昨年11月～今年1月にかけて、福祉施設(特養)の職員延べ18名を研修職員として受入れ、バイタル測定や状態観察等の見学や看取りの流れ、エンゼルケア等について研修を行った。

済生会飯塚嘉穂病院

なでしこホットライン開設

施設関係者向け医療相談窓口

0120-745-860

なでしこ ハロー

看取りが不安
看取りのタイミングがわからない・・・
看取りに受診したらいいい？
医療費が心配

施設において、様々な医療に関する悩みや疑問に「済生会地域包括ケア連携士」がご相談に応じます。相談は無料、秘密厳守です。

■まずは、かかりつけ医にご相談ください。

■済生会地域包括ケア連携士とは、済生会の持つ医療・福祉・介護の資源を最大限に活用しながら地域連携に必要な知識を持ち、地域包括ケア推進を担う有資格者です。

■専門ホットラインのため、利用者・一般の方への電話番号の公開はご遠慮ください。

■お気軽に、ご相談ください。

受付時間・・・月～金 8時30分～17時

〒820-0076 福岡県飯塚市本町丸265 Tel (0948) 22-3804
 地域医療連携室 直通 Fax (0948) 22-3859
 E-mail chiren@izuka-kaho.jp

社会福祉法人 済生会 済生会支部 福岡県済生会飯塚嘉穂病院

認定看護師があなたの施設の困りごと解決をお手伝い

なでしこネットワーク

感染管理 糖尿病看護 緩和ケア

当院認定看護師による連携活動を通じて施設の皆さんのケアの悩みや課題を共有します

施設関係者向け医療相談窓口「なでしこホットライン」でご相談をお待ちしています。

なでしこ ハロー

0120-745-860

受付時間 平日 8:30～16:30 土曜 8:30～12:00

社会福祉法人 済生会 済生会支部 福岡県済生会飯塚嘉穂病院
 地域医療福祉センター 地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー
 TEL 0948-22-3804 (直通) E-mail chiren@izuka-kaho.jp